

SER プローブ製造に参入 九戸精密を子会社化

【岩手県盛岡市】九戸精密(株)は、計測用プローブ製造を手掛ける(株)エス・イー・アール(東京都品川区北品川1-14-8、03-57-9610330)を、スプリングプローブの製造に参入した。これまではソケットの開発・設計に特化していたが、今後はプローブの製造からの一貫した事業展開を進めていく。

同社は、これまでプローブとソケットは社内製造機能を持たず、外部委託を行ってきた。しかし、17年4月にプローブ製造や切削加工を手掛ける九戸精密(株)岩手県九戸村を子会社化し、プローブの製造にも乗り出すことを決めた。九戸精密は、1978年に有限会社として創業し、当初

はシチズン時計の傘下時計用部品の加工を手がけ、97年からスプリングの製造を開始。プローブ製造では20年以上の歴史を持つ。SERは、もともと九戸精密にプローブの製造を委託しており、今回同社を子会社化したことで、一貫した事業体制を確立した。本社工場は九戸村の中学校の校舎を、切削加工やプローブ組立(クリンルーム工場として活用している。17年10月には盛岡工場)を、17年10月には盛岡工場(岩手県盛岡市みたけ5丁目2番-15)を取得し、2拠点体制で本格的にプローブ設計・加工・組立製造および各種精密加工による精密部品製造販売を手がけ、例えば電子部品、自動車関連部品での業務伸長を行っていく方針となる。

精密CNC自動旋盤90台、CAM式自動旋盤機45台、計135台の加工設備を保有。プローブ外径0.11mmの量産実績を有しているほか、現在はウエハー・ベルローピン向けに80μmの微細スプリング



九戸精密 盛岡工場

プローブ部品の量産を行っている。また、精密微細加工部品の自動組立ラインのほか、電子顕微鏡(SEM)やX線検査装置など、評価・解析体制も充実している。現在は、SERのみならず、既存および新規顧客向けのビジネスが大きく飛躍し、初年度17年度は切削加工・プローブ製造が好調で、17年度売上高は当初計画比4割増の7億円を大きく超えることが期待できる。(代表取締役社長の渡部達己氏)と、

岩手発 世界志向!! 超微細加工 & 組立技術をあなたに



各種切削部品

<特長>

- 車載関連・時計関連・医療関連等多品種の精密加工部品を供給
- φ20mm以下の精密部品に特化

スプリングプローブ

<特長>

- 設計～組立まで一貫生産体制
- 外径φ0.11mmから量産可能
- 単品部品加工も対応

◆切削部品：加工・表面処理 ◆プローブ：設計・加工・組立・評価解析

九戸精密株式会社
URL: www.kunoheseimitsu.co.jp

■本社工場
〒028-6505 岩手県九戸郡九戸村大字江刺家10-30-2
TEL:(0195)42-2821 FAX:(0195)42-3556
E-mail: info@kunoheseimitsu.co.jp

■盛岡工場
〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ5丁目2番-15号
TEL:(019)613-3466 FAX:(019)613-3588